

ファルージャ在住のジャーナリスト、ファディル・バドラー二氏の衛星電話での証言を紹介します。

# 民間人 **2000**人が死亡

民間人の死者は少なくとも2000人はいます。現在、米軍は多くの死体をユーフラテス川に運び、遺棄しています。米軍戦車は路上に放置された多数の死体を踏み潰しています。ファルージャ総攻撃は、歴史上最も残虐なものといえます。

今も住民10万人が市内にとどまっていますが、食料も医薬品もなく次々に死んでいます。多くは子どもと女性です。米軍は赤心月社（イスラム社会での赤十字）市街地入りをいまだに許可していません。

米軍は、生き残った住民も野蛮に扱い、容赦なく拘束しています。ファルージャの惨状を伝えるジャーナリストは次々拘束されています。私自身も捕まるかもしれません。

## 日本政府の責任は重大



世界中がこの蛮行に懸念と反対を表明している中で、米軍の行動をいち早く支持して「成功させなければならない」と公言した小泉総理の態度を許せるでしょうか。

みなさん、想像してみてください。

自分の家が突然攻撃され、家族が殺されてしまうことを。瀕死の状態の幼子に、何もしてやることができず泣き叫んでいる自分を...

イラクの悲劇は、私たちと無関係ではありません。この残虐な虐殺を、日本政府は支持し、自衛隊を派遣して支えているのですから。

# 米軍はファルージャでの虐殺作戦をやめろ

# 自衛隊は直ちに撤退を

京都自治労連

電話  
075-801-8186

11月